

2 . 鶴見川の取り組み

1) 鶴見川流域の取り組み

➤ 総合治水への取り組み

治水安全度を速やかに上げる流域一体となった治水対策



1) 鶴見川流域の取り組み

➤ 河川対策 : 浚渫・築堤、遊水地



浚渫・築堤により
流下能力2倍に



1) 鶴見川流域の取り組み

➤ 下水道対策 : 低地地域の内水対策



1) 鶴見川流域の取り組み

➤ 流域対策 : 開発区域の流出抑制施設の設置

晴天時

横浜市緑区



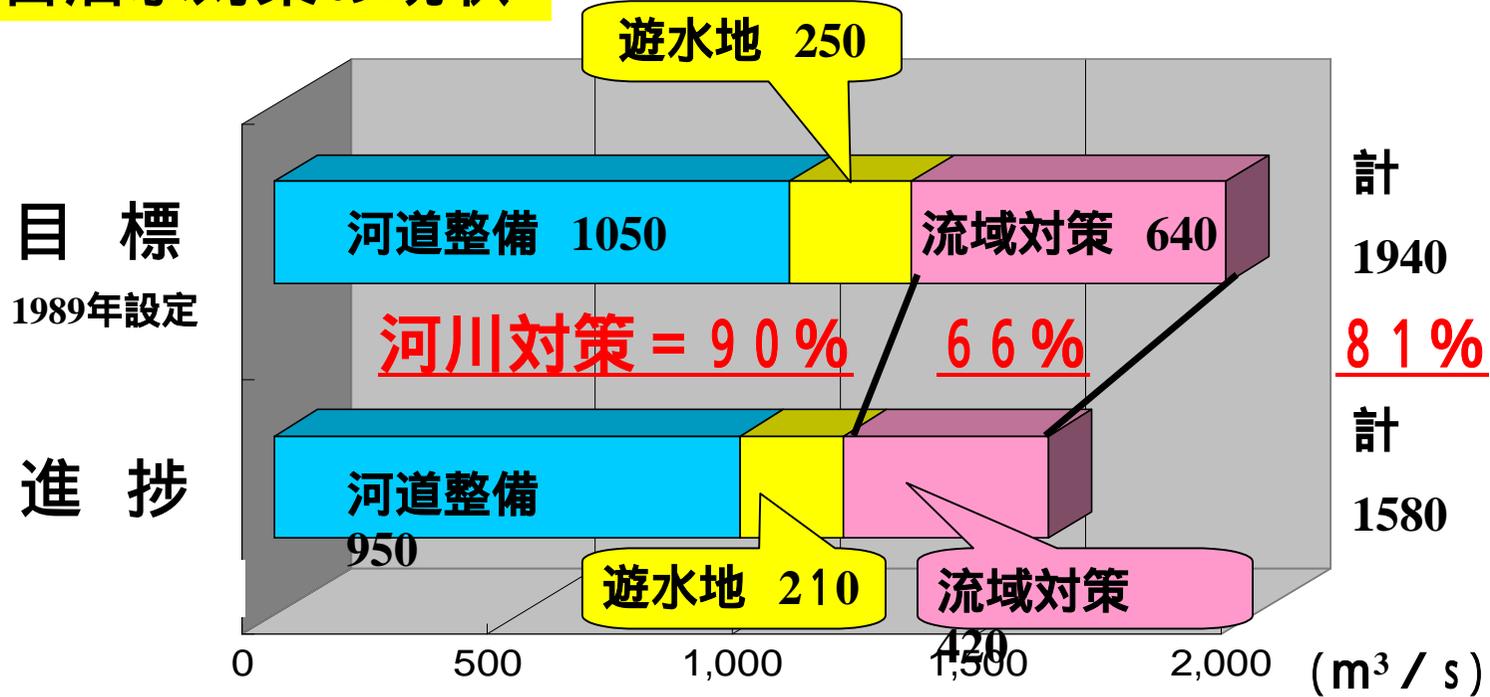
雨天時



貯留量 約97,000m³

1) 鶴見川流域の取り組み

➤ 総合治水対策の現状



治水安全度は向上、しかし、未だ

土地利用コントロールまでは出来ず市街化は進行

流域対策に法的強制力がなくフォローが不十分

水質、水量、自然環境、利用などの諸課題には対応が不十分

1) 鶴見川流域の取り組み

行政単位での取り組み

NO

東京都

神奈川県

町田市

川崎市

横浜市

国土交通省



✓流域の視点で、
課題と目標の共有化



✓流域内での河川と流域の
適切な役割分担が必要



流域を基本とした
総合水管理

“国土マネジメント”が必要

1) 鶴見川流域の取り組み

行政主体での取り組み



NO

市民・企業の日常的で身近な取り組み・参加が必須



多様な連携と協働による
“国土マネジメント”が必要

1) 鶴見川流域の取り組み

➤ 新たな取り組み



YES

✓安全、安心、快適な流域社会
+
持続可能な水循環型社会



ビジョンと実現方策を示す
“鶴見川流域マスタープラン”
策定

✓“流域水委員会”を設立し、市民、企業、自治体、水管理者で専門家のアドバイスをもとに策定